情報セキュリティマネジメント試験対策動画。今回のテーマは監査技法です。

このテーマを取り上げた理由としては、当チャンネルのコミュニティで実施しております、情報セキュリティマネジメント試験一問一答にて正答率が70パーセントを下回っていたため作成いたしました。今回は、シュリンクラップ契約の関連用語であるクリックラップ契約も含めて解説いたします。

監査技法。。

監査を行う際にもちいられる手法のことです。監査証拠を得るためにおこないます。

代表的な手法として、チェックリスト法、ドキュメントレビュー法、現地調査法、インタビュー法、ウォークスルー法、突合、照合法、コンピュータ支援技法、きゃっとのななつが挙げられます。

チェックリスト法。。

システム監査にんが、監査対象に応じて作成したチェックリスト。チェックリスト形式の質問書に対して、関係者から回答を求める技法のことです。そのままの意味ですね。

ドキュメントレビュー法。。

システム監査にんが、関連する資料や文書類を入手して内容を点検する技法のことです。なお、レビューは点検という意味です。

現地調査法。。

システム監査にんが、監査対象の部署に直接赴き、業務の流れや状況を調査する技法のことです。これもそのままの意味ですね。

インタビュー法。。

システム監査にんが、監査対象の実態を確かめるために、直接関係者に口頭で問い合わせ、回答を入手する技法のことです。インタビューなのでイメージしやすいですね。

ウォークスルー法。。

システム監査人が、監査対象の業務プロセス。データの生成から入力、出力、活用までのプロセス、及び組み込まれているコントロールを書面上または実際に追跡して評価する技法のことです。なお、ウォークスルーは通り抜けるという意味です。

突合。照合法。。

システム監査にんが、関連する複数の証拠資料を突き合わせて整合性を確認する技法のことです。これも文字通りの意味ですね。

コンピュータ支援技法。キャット。コンピューターアシステッドオーディットテクニクス。。

システム監査にんが、コンピュータを利用し、不正の有無等を検証する技法のことです。大量のデータを検証できるといったメリットがあります。

突然恋するげんどうちゃん

それでわ早速過去もんけんきゅうにうつります。。

れいわがん年度。秋季。

とい39。データの生成から入力、処理、出力、活用までのプロセス、及び組み込まれているコントロールを、システム監査にんが書面上で又は実際に追跡する技法はどれか？。。

ア。インタビュー法。。イ。ウォークスルー法。。ウ。監査モジュール法。。

エ。ペネトレーションテスト法

せいかいわ。イ。ウォークスルー法です。。。簡単でしたよね？

インタビュー法以外の選択肢についてご紹介いたします。。

監査モジュール法。。

システム自体にデータを抽出、記録するモジュールを組み込んでおき、出力されたデータから監査を行う技法のことです。コンピュータ支援技法、きゃっとのひとつとしてもちいられます。

ペネトレーションテスト法。。

システムやネットワークの脆弱性を評価するために、実際に攻撃者の視点に立って疑似的な攻撃を試みる技法のことです。組織のセキュリティ対策を強化するために、定期的に実施することが推奨されています。